



# Q フィラリアってどんな病気なの?

A

犬の病気として有名な、心臓の寄生虫であるフィラリア症が、猫にも同様に感染・寄生します。

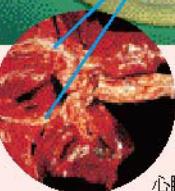
フィラリア症は蚊によって媒介される寄生虫感染症で、フィラリアに感染してしまうと、長期に渡り心臓に長さ15~30センチほどの素麺のような白い虫が寄生します。

その寄生虫が、心臓や肺だけではなく、肝臓や腎臓そして全身に重大な障害を与え、時に突然死の原因となります。感染率は全国平均でおよそ10%の猫に寄生が認められたと報告されています。

1ヶ月1回のお薬で  
100% 予防することができます。



フィラリアの成虫



心臓に寄生した成虫



# Q フィラリアに感染するとどうなるの?

A

肺や心臓の異常を起こして、

- しつこい咳
- 呼吸困難
- 嘔吐
- うつ症状
- 疲労
- 元気消失
- 食欲不振
- 体重減少

その結果

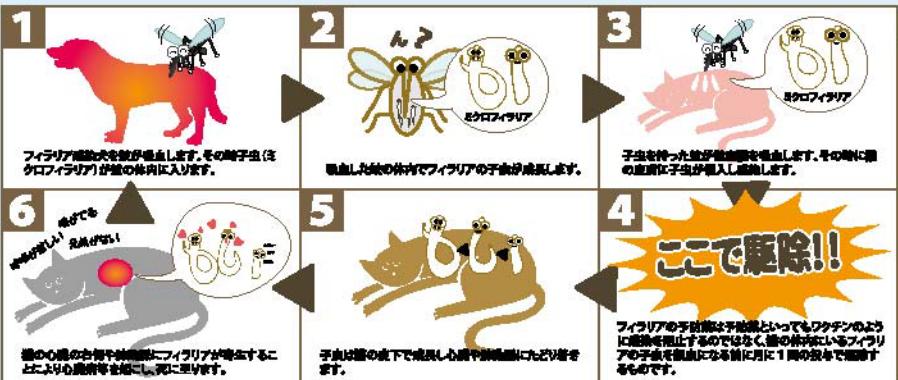
死に至ることもあります。

\*他の病気でよく見られる症状とよく似ているため間違え易い。



# Q フィラリアはどうやって感染するの?

A 猫のフィラリア感染サイクル



# Q 感染・予防の期間は? 予防のお薬は?

A

蚊の発生時期がフィラリア症の感染時期になります。

左図のフィラリア感染サイクルにもありますが、予防するお薬は「感染を予防する」ではなく、「感染後体内にいる子虫を駆除する」お薬ですので、蚊がいなくなつて1か月後までの予防をお願いします。5月頃から12月頃をオススメします。

## 予防のお薬

### スポットオンタイプ



背中に垂らすだけなので、とても簡単に予防できます。

同時にノミ・ダニも予防できるので、安心です。

¥2,100~/1ヶ月分

### チュアブルタイプ



飲ませるタイプのお薬です。月一回の投薬で、フィラリア虫を確実に予防でき、お手頃な費用でご利用いただけます。

¥840~/1ヶ月分